

い 西伯小学校、法勝寺中学校に古事記ロマン献立登場にしえのお味はいかが？

6月15日、西伯小学校と法勝寺中学校の給食に古事記編纂1300年にちなんだ「古事記ロマン献立」が登場。子どもたちは古事記にも出てくる赤貝や淡竹、そして県内や町内で生産されたたくさんの食材を味わい、食への関心を高めました。

この日は「赤貝と淡竹のたきこみごはん」や県内産わかめ、町内産の豆腐を使ったすまし汁、境港の開きあじなどの献立に、子どもたちは「おいしいね～」などと話し、元気な声が響きました。西伯小学校の三輪素子栄養教諭は「学校給食に出すことで、郷土文化や地域の食材に興味をもってほしいですね」と話しました。この献立は1年を通じて数回実施する予定です。



廊下には献立の他に神話スポットなども紹介されました(西伯小)

観 再活の町南部町古事記よしもと新喜劇開催に来てくれて「あ～りが～とさ～ん」

6月17日、西伯小学校体育館で「再活の町南部町古事記よしもと新喜劇～1300年分笑ってください～」が開催されました。今年は古事記が編纂されて1300年の節目の年を迎えることから、南部町でのメインイベントの1つとして行われ、南部町に伝わる「大国主命の再生神話」を台本に取り入れたオリジナルストーリーでの上演となりました。オーディションに合格した一般出演者22名と坂本昭文南部町長も参加し、ボケに対して一斉にずっこけるおなじみのギャグも披露されました。

新喜劇のほか、若者に人気の「楽しんご」や「COWCOW」も爆笑のネタを披露し、集まった観客は笑いに包まれました。



休憩中に気軽にサインに応じる楽しんごさん



新喜劇の一コマ



子どもたちに大人気！COWCOWの「あたりまえ体操」

学 ～目で見ると山陰の神々をたずねて①開催ぶ楽しさ、ふれあう喜び

6月20日、南部町公民館多目的ホールで「～目で見ると山陰の神々をたずねて①」と題した講座を開催しました。古事記にまつわる現在の写真を見ながら、古事記の物語を楽しく学習しました。途中南部町内の写真も出てきて、改めて古事記のふるさと南部町を感じることができました。今回の講座は公民館ことぶき大学公開講座として行い、大学生以外の方にもご参加いただきました。この講座は9月まで毎月1回開催。参加は自由ですので、多数ご参加ください。



～目で見ると山陰の神々をたずねて②開催のご案内

■日時／7月20日(金)午後1時30分～3時

■場所／南部町公民館多目的ホール(天萬庁舎内)